



2021年5月25日  
全国港湾 20 発第 98 号

横須賀市  
市長 上地克明 殿

全国港湾労働組合連合会  
中央執行委員長 柏木 公廣  
現業部 会長 竹内 一



### 横須賀新港ふ頭へのフェリー就航に係る港湾労働者の雇用問題に関する申し入れ

私たちは、全国の港湾で働く労働者で組織する港湾産別労働組合です。私たちは、雇用の安定的確保、港湾労働秩序を大きな課題として位置づけ取り組んでおります。

さて、貴職は、阪九フェリー(株)と新日本海フェリー(株)を中心とするSHKグループによって設立された東京九州フェリー(株)の横須賀新港ふ頭～新門司港間における新規航路開設を積極的に進め、そのためのフェリー上屋の建設やフェリー用防舷材の設置などの工事を強行されています。これにより、私たち港湾労働者は、雇用と職域が奪われるという致命的とさえ考えられる事態に直面させられています。このことに、まずもって嚴重に抗議するものです。

貴職のふ頭改修工事によって、車輛船の着岸・車両荷役は物理的に不可能で、貴職の「共存共栄」との主張は、物理的に不可能であることは明らかです。

したがって、港湾労働者の雇用を守り、事態の解決を図るために、(一社)日本港運協会に「行動の自由の留保」を宣言し、ストライキを含む諸行動の準備を整えたことを通告しました。

については、下記について直ちに対応するよう申し入れます。

#### 記

1. 現在進めているフェリー用上屋・防舷材設置の工事を中止し、元の公共バス仕様に戻し、横須賀新港ふ頭での港湾労働者の雇用と職域を確保すること。
2. 東京九州フェリー(株)の横須賀新港ふ頭～新門司港間における新規航路を近隣他港～新門司港と計画の変更を行うこと。
3. 上記の課題も含め、本件の解決のために当方との協議の場を設け、真摯に協議すること。

以上

(写) 横須賀新港へのフェリー就航に係る雇用問題に関する通告：日港協宛